

北高祭 2022 開催！

2022年9月5・6日

北高生が一番「熱く」なる「北高祭（文化祭）」が行われました！一昨年度は新型コロナウイルスの影響から中止に追い込まれ、昨年度は開催一步前のところで、新型コロナウイルスの再拡大により、オンラインによる映像視聴という形で、大幅に縮小されてしまいました。対面開催という形式としては3年ぶりとなりました。3年ぶりということは、現在の高校生はコロナ前の北高祭を知らない世代ということの意味し、学校祭がどのようなものなのかを、肌感覚の無いまま準備を進めることとなりました。経験が無いだけに苦難も強いられましたが、逆に前例にとらわれず、ウィズコロナで実施可能な文化祭を創り上げようと、「再生」をスローガンとして、ここに2日間にわたる北高祭を開催するに至りました。

コロナ前に北高祭の一環として実施していた体育祭については、コロナが終息していないことや、近年より深刻になっている暑さ（熱中症）を懸念して実施を見送った代わりに、10月に代替行事としてスポーツ大会（仮称）を計画しています。

北高祭スローガン：**再生**

北高祭オープニングは、生徒会執行部作成による映像により始まりました。コロナ禍で全校が結集することは叶いませんでしたが、各クラスに映像が配信され、校長先生、生徒会長、文化委員長による挨拶で北高祭が始まりました。



映像配信によるオープニングを各控室で視聴



左上の写真：体育館では整理券配布により460人の入場制限を実施（密集を避ける対策として実施）

右上の写真：消毒液設置やマスク着用は、感染症対策として定着しています

教室では、1年生・2年生の各1クラス、3年生の4クラスが縁日や脱出ゲーム、謎解き等の企画を行いました。また、文化系部活動や各種委員会が日頃の成果を活かした創意あふれる企画を行いました。密閉空間が生じてしまう「お化け屋敷」や「迷路」などは実施できなかったものの、コロナ禍でも実施可能なものを探った企画は、一度に入場できる人数を制限したこともありますが、それ以上に従来のものにとられない斬新なものとなり、参加者からの評判が良かったことも手伝って、例年以上に長蛇の行列ができるほどの人気を集めました。1日目のみの企画もありましたが、多くの教室企画は2日間とも開催され、両日とも大盛況でした。

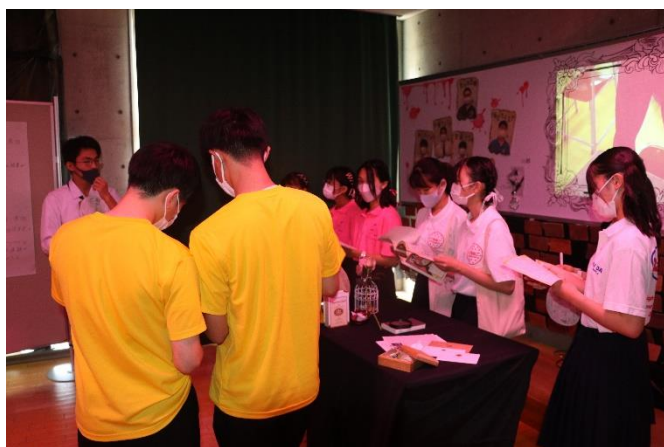
近隣の中川ふれあいセンターでは「クラシックコンサート」が催され、有志12団体がピアノ演奏やチューバ、サクソ五重奏、箏の演奏を披露し、多くの生徒が鑑賞しました。クラシックコンサートの企画数は過去数年を見ても最多です（3年前は5団体）。



1年8組「縁日」の様子



3年2組「目指せ甲子園! 佐野ファイターズ」の様子



3年3組「佐々木さつき刺された」(謎解き)の様子



3年4組「ラスベガス」の様子



3年5組「DAIJU」の様子



文芸(かるた)部の様子

ピロティや屋外には、装飾企画として1年生の3クラスが作成した様々なオブジェ等が登場し、記念写真を撮ったり、願い事を書いたりする姿が見られました。



1年1組の企画「縁結び神社&エコステンドグラス」の様子
(ペットボトルのラベルを使って制作)

1年2組の企画「PHOTO SPOT」の様子



1年4組「個性豊かな階段アート」の様子

生徒会執行部が作成したフォトスポットも！



全校制作は手の込んだ力作で「再生」をイメージしたものに(有志メンバーで頑張って掲示しました)

管理棟吹き抜けは、前ページで紹介した全校制作のほか、美術部の作品が展示されて、まさに美術館のようでした。さらに職員有志の企画（写真展）も登場し、彩を添えました。そのような落ち着いた雰囲気が漂う中、文化祭1日目には個人企画による出し物が催され、漫談ライブやギターによる弾き語り、トランペット演奏、少人数での合唱などの発表が行われ、体育館とは趣の異なる、もう1つの小さなステージが見られました。



体育館ステージでは、2年生の6クラス、3年生の4クラスに加えて、音楽部（合唱）、音楽部（吹奏楽）の12団体が2日間にわたって発表を行いました。中には460人の定員いっぱいとなり、鑑賞できなくなってしまう人も出てしまう程の盛況ぶりでした。感染症対策による常時換気の実施により、真っ暗にすることができない条件でも、できる限りの演出をしようと努力する姿が見られました。

音楽部の発表においては、合唱、吹奏楽とも単に歌唱する、演奏する、に留まらず、合唱では演技を行いながら独唱したり、吹奏楽においては楽器以外に踊り手が登場するなど、工夫を凝らしたものとなりました。



3年1組の企画「今日から俺は」の様子



3年6組の企画「源氏物語」の様子



3年7組の企画「3-7 STATION」の様子



音楽部（吹奏楽）の企画「BRASS×FAMILY」の様子



音楽部（合唱）の企画「アナと雪の女王 ver.ミュージカル」の様子



1日目の放課後には、恒例のヤングフェスティバルがあり、有志の5団体が合計2時間にわたりバンド演奏やダンスを行いました。放課後かつ自由参加にも関わらず、多くの生徒が参加しました。今年度は感染症対策としてあらかじめ抽選を行い、整理券を手にした人のみが入場できるという方式としましたが、抽選の段階で定員をオーバーする申し込みがあったので、鑑賞を諦めざるを得ない生徒もいました。来年こそは制限無しで、このようなイベントが継続できることを願いますが、コロナ禍の新しい形として、観客が大声を出さない代わりに手拍子を送ったり、スマホをペンライト代わりにするなどの方法が取り入れられ、どんな時も楽しむ！という意気込みが伝わってきました。



用意された460の椅子はほぼ全て埋まりました



ステージ上からの熱演、コロナ前の風景が幾分か戻ってきました



ヤングフェスでのダンスは今までにない形式！？



マスクで感染症対策しながらも手拍子・拍手で盛り上がります！



スマホのペンライトは現代の定番！？

冒頭で述べた通り、北高祭の一環としての体育祭は無くなってしまいましたが、体育祭の華とも言えた応援団は、後輩に受け継がれて、一昨年度は全くできず、全校生徒が参観する応援合戦は無くなったものの、昨年度は「3年生・秋のバレーボール大会」において、何とか有志による応援団演舞を実施することができ、今年度も昨年度と同様の規模で、文化祭の出し物の1つとして実施することができました。迫力ある演技に、多くの生徒が魅了されました。



これまで紹介してきた企画のほかにも、1年生の4クラスと2年生の1クラスは映像制作を行ってゼミナール室で上映したほか、今年度で廃部となる文芸部（文芸）は、最後となる部誌「漣」の配布を行いました。また、全国大会に出場した自然科学部は、全国大会の様子を発表し、茶道部や書道部、料理部、コンピュータ部はその特技・技術を活かした発表を行い、家庭クラブ委員会、図書委員会、保健委員会もそれぞれの委員会の特性を生かした発表を行い、北高祭を盛り上げました。

今年度は、対面開催が実現したものの、新型コロナが終息したわけではなく、感染者が多い状態が続いていることから、やむを得ず保護者や卒業生、近隣住民の方を含めた生徒・職員以外の入場を断つての開催となりました。そのような状況の中で、育友会役員の方に、昼食時の飲料配布をしていただきました。飲料配布と言えば単にジュースを渡すだけ、などと勝手に想像してしまいましたが、実際には多くの種類の飲料を用意して、生徒がワクワクしながら飲料を受け取れるような工夫がなされ、保護者の方もコロナ禍でも少しでも盛り上がるものをしよう！という思いを感じさせる計らいに、生徒からは多くの笑みが見られました。



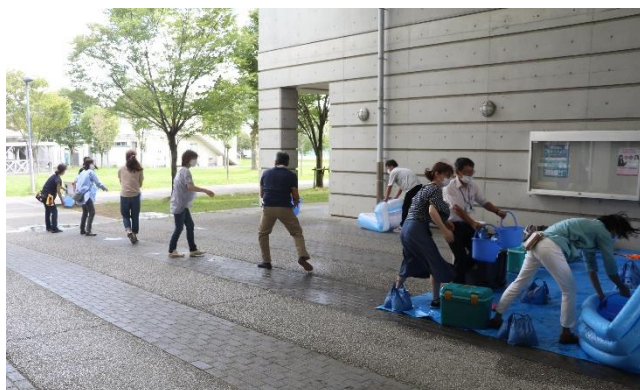
1日目の飲料配布の様子



2日目の飲料配布の様子



種類が色々あって何を選ぼうか迷ってしまいます！



片付けはバケツリレーで協力する姿！

コロナ禍の北高祭では、様々な場面で制約を受けることが多く、先述した通り、ステージ発表が行われた体育館では460人の、映像企画が行われたゼミナール室では100人の入場制限が行われました。その他、ヤングフェスティバルではヴォーカル以外のマスク着用や、ステージ発表ではキャストがセリフ話すとき以外のマスク着用が求められ、教室企画についても換気のできない企画（お化け屋敷や迷路等）は認められないなど、コロナ前と比べると不自由な面もありました。それでも、このような状況に屈することなく、各団体が感染症対策を講じたうえで、創意工夫ある企画を実施する姿が見られました。入場制限に際しては、文化委員・体育委員・議員が当番を組んで整理券を配布し、総務委員は文化祭で使用するパネルを運搬したほか、生徒会執行部は各団体の企画書を確認し、感染対策が十分にされているか確認したうえで、当日も整理券配布のサポートをしたり、看板を設置したり生徒会担当職員と連絡を取り合ったりと、円滑な学校祭運営に尽力してくれました。このように多くの方々のサポートにより、3年ぶりの対面開催が実現するに至りました。

閉会式で、校長先生、生徒会長、文化委員長ともに、対面開催できたことへの喜びがあふれる挨拶となりました。様々な思いはありますが、北高祭テーマ「再生」が実現したのではないかと達成感に満たされた人は多かったものと思います。学校行事を通じて様々な糧を得たものと確信しています。

《北高祭を終えて（生徒の感想）》

- ・コロナ対策でもっと窮屈で正直つまらないものになるかもしれないと思っていたが、実際は対策に配慮した上で自分も含めてみんなが最大限楽しめていたと思うので、予想とは違ってとても楽しい思い出になった。
- ・文化祭本番では、トップバッターだったけど、練習通り、精一杯の力を出して演技ができたと思います。先週から準備を本格的に始め、その時は絶対に準備終わらないだろうと思ったけど、何とかなって良かったです。ヤンフェスは本当のライブみたいで、とても盛り上がりました。（抽選から漏れて）入れなくて悔しい思いをした人もいたので、来年も開催してほしいです。2日目の吹奏楽の生演奏は、テレビとかで聞くものよりもずっと迫力がありました。それだけでなく、キャラが出てきて客を飽きさせない演出もすごいと思いました。午後の3-7 STATIONは歌とかダンスのレベルが高くて感動すると共に、歌と歌の間のCMパロディも面白くて、行って良かったなと思いました。明日からはテスト勉強を頑張ります。
- ・文化祭は本当に面白かったです。一つ一つの劇や映像がどれも魅力的で楽しかったです。各々の個性を活かしたヤンフェスや演奏会など、最後の最後まで楽しませてくれた北高祭に感謝。
- ・文化祭めっちゃたのしかったです！中学校のとはまた違う雰囲気がありました。とても充実感のある2日間にできたので良かったです。いつもと学校が違う雰囲気でテンション上がりました。周りもみんなかわいい感じでした。本当は劇とかたくさん見たかったけど、暑いのが嫌なので、1つしか見る体力がありませんでした。
- ・1年生の時からやりたかったな！と心の底から思った。最初で最後になってしまうのがほんとに悔しかったし、回りきれなかったところもあったのでもう一日欲しかった！とにかく楽しかった。文化祭準備に戻りたい！
- ・本番はもちろん、準備期間も楽しかった。友達と駄弁りながら、自分達が作りたい物を作る。凄く楽しい思い出となった。当日は今まで見たことない北高の一面を見れた気がした。規範を守って、まじめに楽しむ事ができた。これが北高での最初で最後の文化祭と思うと惜しいが、最後に最高の思い出を作る事ができてよかった。
- ・想像していたよりも、どのクラスもクオリティが高く、テーマパークのように楽しめました。特にヤンフェスが印象深く、コロナ禍でずっと出来ていなかった文化祭ができると同時に、行けなかった音楽ライブに参加できたみたいで本当に楽しかったです。ラスベガスやDAIJUも特に面白く、スタッフの盛り上げがとても上手で、時間を忘れて楽しみました。最初で最後の文化祭になってしまうのはやっぱり少し寂しいけれど、一度でも楽しい経験ができたことに感謝して、この思い出を大切にしたいです。
- ・1年の時は文化祭自体がなくはっきり言ってつまらない学校生活でした。二年生もこれと言って変わりはなく、このまま卒業するのかなと思いました。みんなもそう思っていたのでしょうか、今回の文化祭はみんなが本気を越えた全力を出しているようでした。作るのも踊るのも遊ぶのにも全力でどこにも手を抜いていない様子が五感で感じ取られました。実際僕もカジノに本気を出しました。劇にも全力で取り組みました。その結果、今文化祭の感想を書いているのですがとても満足した、清々しい気持ちで書くことができます。たった一つ残念なことを挙げるとするとこの最高の北高文化祭が一生に一度しか出来ないということです。参加出来ていない企画もありますが一生に一度の文化祭を後悔のないように二日間楽しめたと思っています。この経験を糧に大学ではもっと楽しい行事を沢山やりたいと思いました。北高サイコー！